

阿波市・吉野川市の状況を知る		1	
<input type="checkbox"/>	1 阿波市・吉野川市を取り巻く状況	はじめに 阿波市・吉野川市のデータ	2
<input type="checkbox"/>	2 阿波市・吉野川市の主要な品目紹介と支援体制	ブロッコリー レタス ナス イチゴ トマトの品目紹介	5
<input type="checkbox"/>	3 どの作物をどのくらい作ったらいい?	線形計画法を用いた複合経営モデルの試算	15
事業や制度を活用する		17	
<input type="checkbox"/>	4 新たに事業を活用したい(国補)	令和8年度農林水産省予算概算決定より支援事業の紹介	18
<input type="checkbox"/>	5 新たに事業を活用したい(県単)	とくしま農山漁村未来投資事業	19
<input type="checkbox"/>	6 新たに事業を活用したい(市単)	阿波市単独事業 新規就農安定経営支援事業補助金	20
<input type="checkbox"/>	7 様々な制度を活用しやすくするために	認定農業者・認定新規就農者になるには	21
<input type="checkbox"/>	8 農地を貸したい・借りたい	農地中間管理機構とは	22
<input type="checkbox"/>	9 青色申告のメリットは?	青色申告特別控除を適用しましょう!	24
<input type="checkbox"/>	10 青色申告を始めたい	青色申告の手続き	26
<input type="checkbox"/>	11 収入低下のリスクに備えたい	収入保険をご紹介します!	27
環境に優しい農業・農薬について		29	
<input type="checkbox"/>	12 環境に優しい農業に興味がある	有機農業を知っていますか?	30
<input type="checkbox"/>	13 コストや手間をかけずに土づくりと減肥をしたい	冬野菜生産者の皆さんへ 夏作緑肥「ソルガム」を栽培しませんか	32
<input type="checkbox"/>	14 農薬の適正使用について知りたい	農薬を購入するとき・使用するとき	34
<input type="checkbox"/>	15 農薬の適正使用について知りたい	ラベルで作物名を確認する時には・・・	35
<input type="checkbox"/>	16 農薬の適正使用について知りたい	RACコードを活用して正しいローテーション防除を	36
同業の仲間が欲しい・最新の情報を得たい		37	
<input type="checkbox"/>	17 同業者の仲間づくりがしたい(県～全国)	仲間と学び地域を変える「徳島県農業青年クラブ」	38
<input type="checkbox"/>	18 同業者の仲間づくりがしたい(阿波市・吉野川市)	「阿波吉野川農業青年クラブ連絡協議会」 農業青年クラブに加入しませんか?	40
<input type="checkbox"/>	19 農業を始めるための最新の情報を得たい	農業するなら徳島で!「農の宝島!!とくしま」	42
<input type="checkbox"/>	20 農業に役立つ情報をもっと詳しく知りたい	経営発展に役立つ情報・掲載資料出典	43
<input type="checkbox"/>	21 農業や防災の情報を得たい	徳島県公式LINE 今すぐ登録を!	裏表紙

本冊子では農業を営まれる方の経営発展に役立つ主な支援策・情報を紹介します。

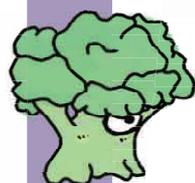
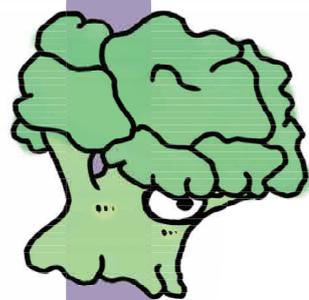
※内容は令和8年3月時点の紹介です。

今後、内容に変更があり得ることや事業によって終了しているものがあることをあらかじめご了承ください。

事業内容については、各施策ごとの「お問い合わせ先」にご確認をお願いします。



# 阿波市・吉野川市の状況を知る



阿波市・吉野川市を取り巻く状況

・・・2

阿波市・吉野川市の主要な品目紹介と支援体制

・・・5

どの作物をどのくらい作ったらいい？

・・・15

## はじめに

このたびは、こちらの冊子を手にとっていただき、また農業という仕事に関心をお寄せいただきありがとうございます。

私たちの管内は、吉野川の恵みである豊かな水と肥沃な土壌があり、露地野菜を中心に水稻や施設園芸など、多様な農業が営まれている県内有数の産地です。

現在、農業を取り巻く状況としては、資材や人件費の高騰、異常気象により、決して平坦な道のりばかりではありませんが、この地域では農家同士が協力し合い、前向きに産地を支えています。そうした中で、新たに農業を志す方や、若手の活躍が強く期待されているのも事実です。

本冊子は、就農を検討される皆様に向けて、活用できる支援制度や役立つ情報をまとめたものです。農業を職業として選ぶにあたっては、様々な疑問や確認しておきたい事柄があるかと思えます。まずはこの冊子を通して、地域の現状やサポート体制について知っていただければ幸いです。

私たち吉野川農業支援センターは、皆様の就農に向けたご相談から、日々の栽培、経営の悩み事まで、可能な限りバックアップいたします。

皆様の将来の選択に、本冊子が少しでもお役に立つことを願っております。



善入寺島のひまわり

徳島県 吉野川農業支援センター 所長

### 管内の農業

管内の農業は吉野川中流域の肥沃な土壌や比較的温暖な気候を活かして、多様な品目、作型で栽培されています。

露地野菜では、ブロッコリー、レタスを始め、夏秋なす、さやえんどう、なばな等が主に栽培されています。

施設野菜では、トマト、ミニトマト、なす、イチゴの栽培が盛んで、県内の主力産地となっています。

水田では、主食用米の作付けが多いですが、一部で酒米の「阿波山田錦」も栽培されています。

このように、阿波市、吉野川市は県内屈指の農業地域として知られています。



## 耕地面積の推移

(面積単位：ha 減少率単位：%)

項目	自治体名	2020年 (R2年産)	2021年 (R3年産)	2022年 (R4年産)	2023年 (R5年産)	2024年 (R6年産)
面積	徳島県	28,500	28,100	27,800	27,500	27,200
	吉野川市	1,600	1,570	1,560	1,540	1,520
	阿波市	3,600	3,560	3,530	3,500	3,470
	管内計	5,200	5,130	5,090	5,040	4,990
減少率	徳島県	-	1.4	2.5	3.5	4.6
	吉野川市	-	1.9	2.5	3.7	5.0
	阿波市	-	1.1	1.9	2.8	3.6
	管内計	-	1.3	2.1	3.0	4.0

※出典：農林水産省統計 減少率は2020年産を基準として算出

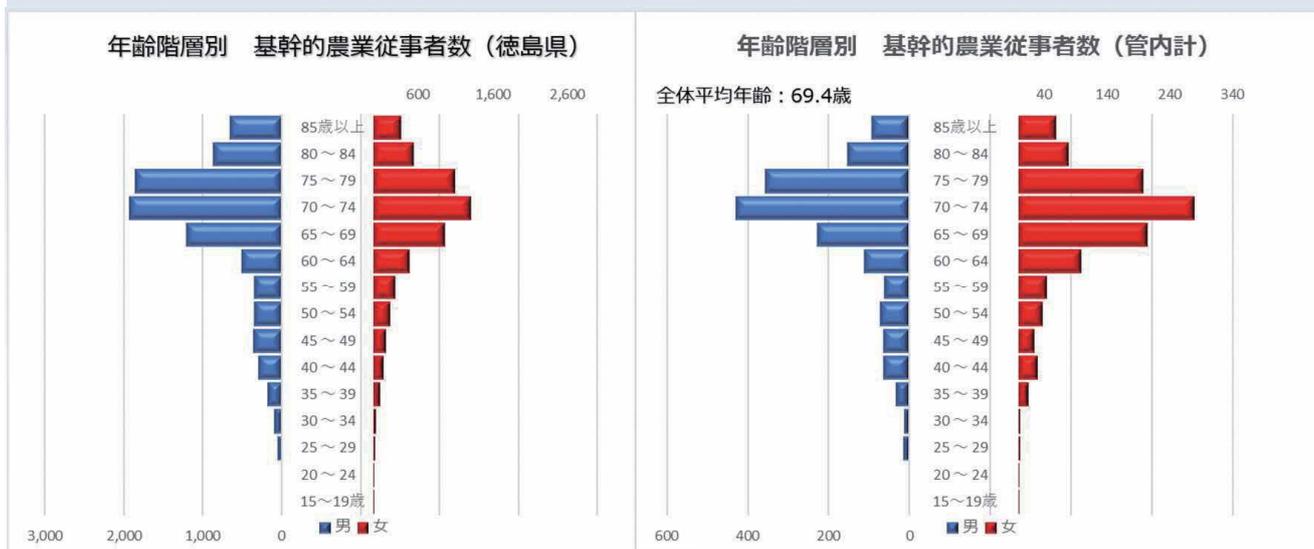
## 基幹的農業従事者の推移

(単位：人，%)

項目	自治体名	2005年 (H17年)	2010年 (H22年)	2015年 (H27年)	2020年 (R2年)	2025年 (R7年)
基幹的 農業 従事者	徳島県	30,873	28,032	22,122	19,186	14,540
	吉野川市	1,842	1,623	1,178	948	659
	阿波市	4,058	3,772	3,213	2,554	2,159
	管内計	5,900	5,395	4,391	3,502	2,818
減少率	徳島県	-	8.9	28.3	37.9	47.2
	吉野川市	-	11.9	36.0	48.5	64.2
	阿波市	-	7.0	20.8	37.1	46.8
	管内計	-	8.6	25.6	40.6	52.2

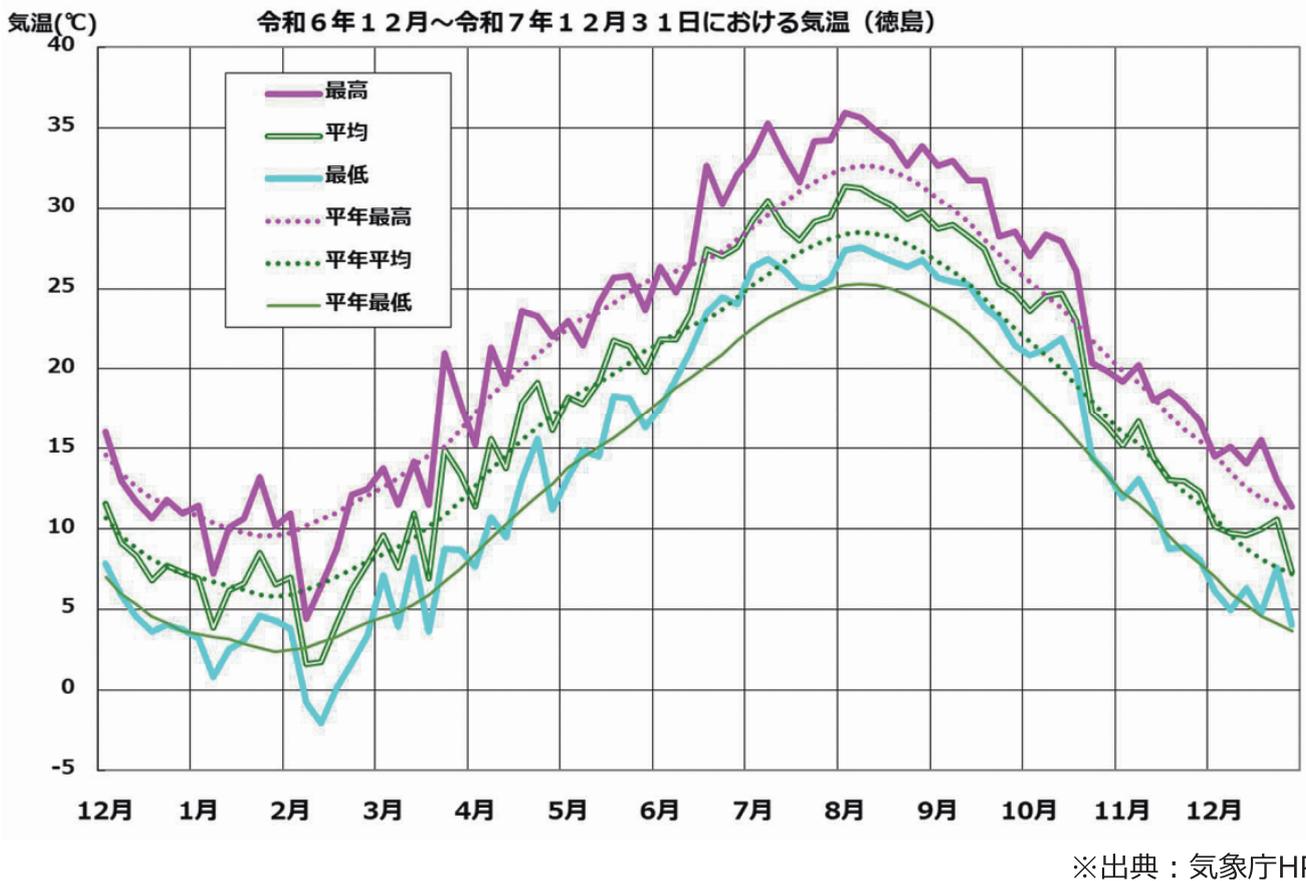
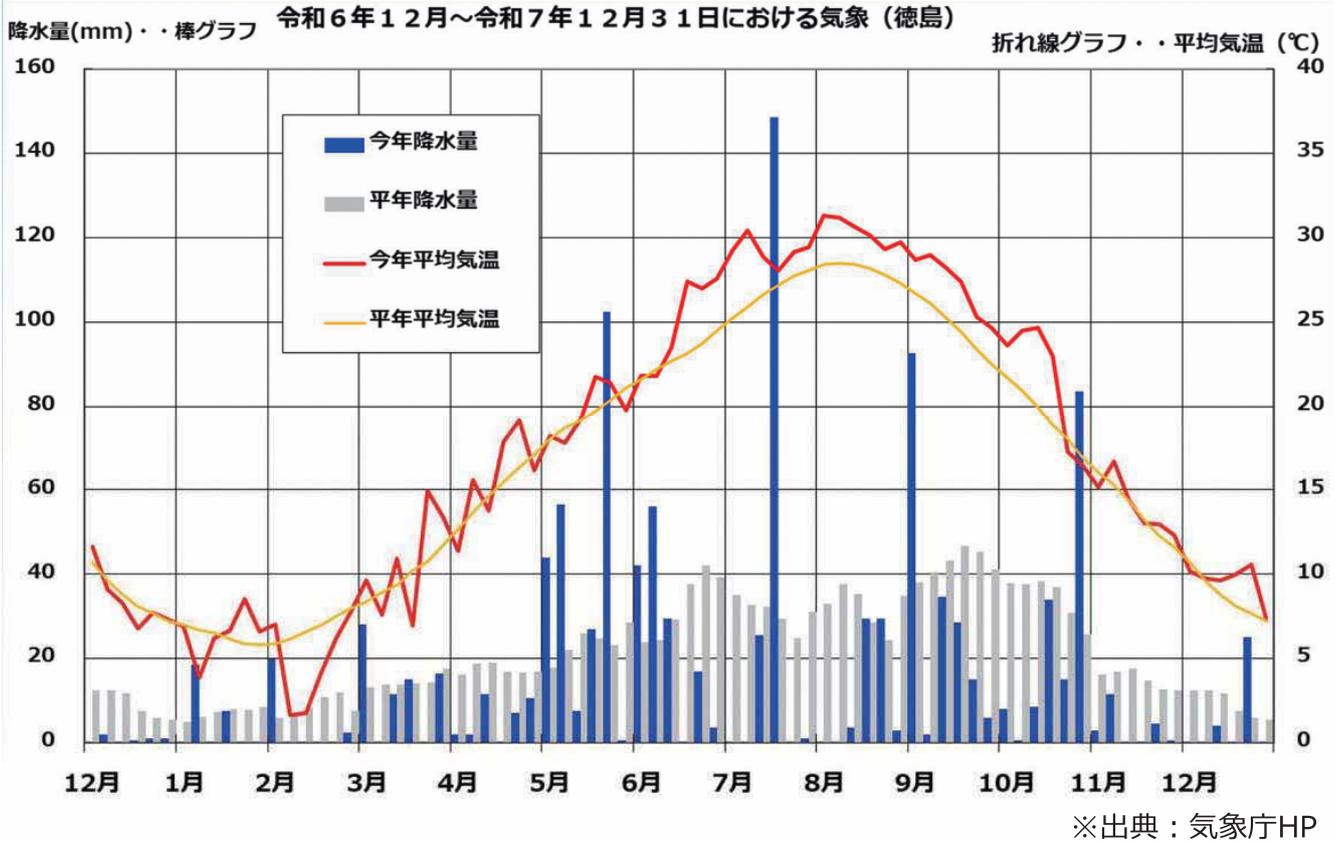
※出典：農林業センサス（大臣官房統計部経営・構造統計課センサス統計室） 減少率は2000年を基準として算出

## 徳島県の基幹的農業従事者・年齢構成



※出典：国勢調査（総務省統計局）・農林業センサス（大臣官房統計部経営・構造統計課センサス統計室）

# 徳島県（徳島地点）の気象



# ブロッコリーの紹介



ブロッコリーは、吉野川農業支援センター管内では、10月～6月に収穫される露地野菜で、機械装備や施設の初期投資が少なく、新規就農しやすい品目です。複数の作型と品種を組み合わせて長期出荷をすることで労働力の分散と、気象災害等のリスクを低減します。

化成肥料が高騰し、異常花蕾・ホウ素欠乏等の生理障害が発生するので、堆肥や緑肥等の有機物を使った土づくりをすることにより生産が安定し、生産コストを下げるすることができます。

また、連作による土壌病害対策や、農薬の効きにくくなった病害・害虫対策も重要な課題となっています。

## 先輩ブロッコリー農家の 声



### 谷木 資郎さん

ブロッコリーは比較的栽培が容易で新規就農者を取り組みやすく、少人数でも可能な品目です。出荷シーズンの10月～6月にまんべんなく収穫できる様に各作型の栽培ポイントを押さえておくのが重要です。地域でも重要な作物なので一緒に産地として盛り上げて行きましょう。

また、私は吉野川市の若手農業者団体「吉野川市農業後継者同志会」に所属しています。仲間と有意義な意見交換ができる場ですので、興味ある方はぜひ支援センターに問い合わせてみてください！



### 妹尾 浩和さん

阿波市・吉野川市ではブロッコリーの栽培が盛んで、産地としてしっかりとした生産部会があり、地域全体で新規の方を応援しています。

地域でまとまって出荷することで出荷量が多くなり、市場への有利販売ができています。

私も息子と一緒に頑張って栽培しています。新規就農の方も一緒に頑張っていきましょう。

## ブロッコリーの品種スケジュール

不織布等被覆	品種名	根こぶ病耐病性	〇 ○：定植時期						□ □：収穫時期				
			8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
	アーリーキャンソ	根こぶ病耐病性	○	○	□	□							
	SK9-099		○	○	□	□							
	おはよう		○○			□	□						
	緑竜	根こぶ病耐病性		○○	□	□							
	BL-456		○	○		□	□						
	BL-462	根こぶ病耐病性		○○		□	□						
	夢剛力	根こぶ病耐病性		○○		□	□						
	ルミナス			○○		□	□						
	深碧	根こぶ病耐病性		○	○		□	□		□			
	アーサー			○	○		□	□		□			
	はつみらい			○○			□	□		□			
	はるびより				○○					□	□		
	クリア			○	○				□	□			
被覆必要	おはよう							○	○		□	□	□
被覆必要	SK9-099							○	○		□	□	
被覆必要	緑竜	根こぶ病耐病性						○	○		□	□	
被覆必要	恵麟							○	○		□	□	
被覆必要	まどか							○	○		□	□	
	令麟								○	○		□	□
	SK9-099							○	○		□	□	
	SK9-099								○	○		□	□
	ブロッケンHP								○	○		□	□

# 吉野川農業支援センターでのブロッコリー栽培支援



吉野川農業支援センター管内の阿波市・吉野川市では新規就農時の経営を安定させるため、ブロッコリー・レタス・夏秋なすの露地野菜複合経営を支援しています。現在のブロッコリー産地を維持・拡大できるよう、生産安定につながるような取組を行っています。



## 生産コスト低減への取組

### 緑肥作物による肥料成分の流亡の防止



夏期に作付けのない圃場では緑肥としてソルガムを栽培し、圃場にすき込むことにより、降雨による肥料成分の流亡を防ぎ、化成肥料施用量を削減して肥料コストを節減します。また、緑肥すき込みによる土づくりにより腐植質を補給して土壌の物理性の改善ができます。

### 土壌分析結果を基にした適正施肥

試料名 (ほ場名)	EC (mS/cm)	pH (H2O)	(mg/乾土100g)			
			石灰 CaO	苦土 MgO	カリ K2O	可給態リン酸 P2O5
ブロッコリー 適正診断基準	0.15~0.5	6.0~7.5	100~300	30~80	25~70	20~100

周年、畑地として使用すると、肥料成分のバランスが崩れたり、累積していきることがあります。化成肥料が高騰しているため、生産コストを削減し、適正な肥培管理をするために栽培前に土壌診断を行い、不足している肥料成分だけ施用するような施肥設計ができるように支援しています。

## 生産安定と異常気象対策

### 病害虫対策

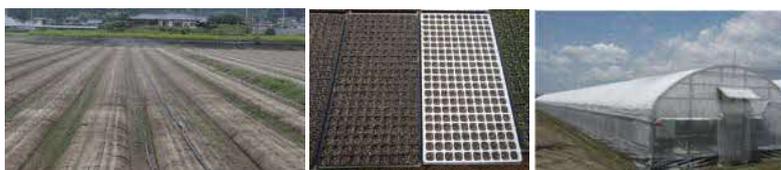


アブラナ科野菜の連作により、根こぶ病や黒すす病の発生が問題になっています。

根こぶ病対策は、輪作・耐病性品種・殺菌剤処理・土壌pH矯正等の様々な手段を用いてIPM（総合的病害虫管理）を実施する必要があります。

黒すす病については病害虫防除所により新種病原菌や薬剤感受性の低下が確認されており、関係機関と連携して有効な対策が検討されています。

### 暑熱対策



灌水チューブ

育苗トレイの検討

育苗期間中の遮熱資材

夏～秋の高温乾燥が厳しくなり、育苗期間中の遮熱資材の活用や、定植直後や花蕾肥大期の灌水チューブによる灌水が必要になっています。資材の実証展示や補助事業の活用について支援しています。

# 夏秋なすの紹介



**夏秋なす**は、暑さに強く夏季に生産できる貴重な作物の一つで、吉野川農業支援センター管内の夏秋なすは県内でもトップの生産額・生産量を誇っており、市町村単位では全国有数の産地です。直管パイプの支柱に渡したハウスバンドに枝を誘引し、枝の剪定をしながら株の樹勢管理を行います。

夏秋なすは水を多く必要とし、常時水を供給するための「水ため栽培」と「灌水チューブ栽培」があります。「水ため栽培」は投資コストは低いものの作業性が悪いことが難点です。「灌水チューブ栽培」は投資コストがある程度かかりますが、作業性がよいことが利点です。

作業の多くがとても暑い時期と重なり負担が多いことから、暑熱対策と作業の負担軽減が喫緊の課題となっています。

また、農薬の効きにくくなった害虫に効果的な防除対策も重要な課題となっています。

## 先輩夏秋なす農家の **声**



川人 孝史 さん

夏場の品目といえば“なす”です。

最初は、難しいかもしれませんが支援センターなどの指導を受けながら栽培していくうちに効率的な栽培のコツをつかめます。

私はベルグアース株式会社の特許技術「アースストレート苗」という若苗を使っています。この苗を使うことで初期生育が良くなり、ポットや肥料にかかるコストの経費削減も可能です。

湯藤 哲也 さん

私は阿波町で、ブロッコリーと夏秋なすの複合経営をしています。

夏秋なすは昔より作りやすくなってはいますが、うまく作れば儲かる品目です。

今までにない農家が思いつかないような作り方や最新の栽培技術などを吉野川農業支援センターの指導を受けながら実践しています。是非、我々と一緒に夏秋なすに取り組んでみませんか。



## 夏秋なすの年間スケジュール表

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
土づくり												
苗注文												
作業												
収穫												
その他												

スケジュール表の注釈:

- 1月: 土づくり
- 2月: 苗注文
- 3月: 土壌分析・施肥設計
- 4月: 基肥施用・畝立て・マルチング
- 5月: 支柱立て・ネット張り
- 6月: 苗定植
- 7月: 枝誘引
- 8月: 葉かぎ・芽かぎ・葉芽残渣の廃棄
- 9月: 収穫
- 10月: ほ場片付け
- 11月: 次期作付計画策定

# 吉野川農業支援センターでの夏秋なす栽培支援

吉野川農業支援センター管内の阿波市・吉野川市では「千両二号」を中心に「筑陽」、「翡翠ナス」などの品種が栽培されています。

吉野川農業支援センターでは徳島県下の夏秋なす産地を維持・拡大できるよう、生産安定につながるような取組を行っています。



「千両二号」 「筑陽」 「翡翠ナス」

## 環境に優しい栽培体系の実証と普及

### 天敵温存植物を活用した土着天敵の定着促進



栽培ほ場内にゴマ、クレオメ、オクラ、マリーゴールドなどの植物を植栽し、害虫を食べてくれる土着天敵の住み着きやすい環境づくりとともに、天敵に影響の少ない農薬の使用により、農薬が効きにくくなったコナジラミ・アザミウマ等の害虫の発生を抑制します。

### 土着天敵の入手先の確保



農家間での土着天敵の融通を図るほか、自助努力でも土着天敵の確保が困難になる生産者を想定し、協力農家や就労支援施設の農場等に土着天敵の温存拠点を設置することで、土着天敵導入のスタートアップを支援しています。

## 作業負担の改善と暑熱対策

### 作業性の改善とコスト削減



作業性の改善とともに肥料代のコストカット（化学肥料を慣行の58%程度削減可能）が期待できる点滴灌水チューブの活用を推進するとともに、防除ロボットの普及推進によって、多大な労力負担がかかる夏期防除の作業負担軽減を図っています。

### 暑熱対策



昨今、夏季は強い日射によって40℃にせまるような酷暑が当たり前になってきており、いくら暑さに強いなすでも花落ちや日焼け果などの影響で収量の減少が認められていることから、酷暑対策を実施しています。

令和7年度は、酷暑時期に寒冷紗を株上に設置したり白色の光反射マルチを敷設しました。その結果、試験期間中は慣行に比べて収量が大きく品質も優れることがわかりました。特に、光反射マルチは収穫数・重量ともに慣行と比べて2～3割程度増加しました。ただ、資材費用が高額（約27万円/10a）なため、今後も敷設方法等に検討が必要です。

# レタスの紹介



**レタス**はパリパリとした食感で風味が爽やかなサラダには無くてはならない野菜です。

レタスは比較的冷涼な気候を好みます。夏は冷涼な長野県、岐阜県等で栽培され、秋から春は徳島県など比較的温暖な地域で栽培されています。県内では阿波市、吉野川市、美馬市等で栽培されており、特に、阿波市吉野町柿原地区で栽培されている「よっちゃんレタス」はブランドレタスです。

レタスは夏播き秋どり作型から、春播き初夏どり作型まで播種時期をずらしながら長期間栽培されます。年内どり、初夏どりは露地栽培ですが、厳寒期はトンネル被覆が必要です。

近年は、夏期の高温対策が課題となっています。新規に栽培を始めるには、トンネル被覆用のビニール、支柱及び保温のためマルチが必要です。

## 先輩レタス農家の 声



瀬尾 忠史 さん  
( J A 徳島県柿島レタス部会長 )

58年の歴史がある「柿島レタス部会」は、高齢化や後継者不足、また地球温暖化による環境の変化の中で、レタス栽培も非常に難しくなっていますが、支援センター職員やJ Aの営農指導員のご協力を得ながら、高品質と出荷量を維持するために部会員一丸となって日々努力しています。一方、インバウンドや食の多様化によって、レタスの需要は増えてきているので、将来展望は明るいと考えます。私達と一緒にレタス栽培に取り組んでみませんか。

河村 正輝 さん

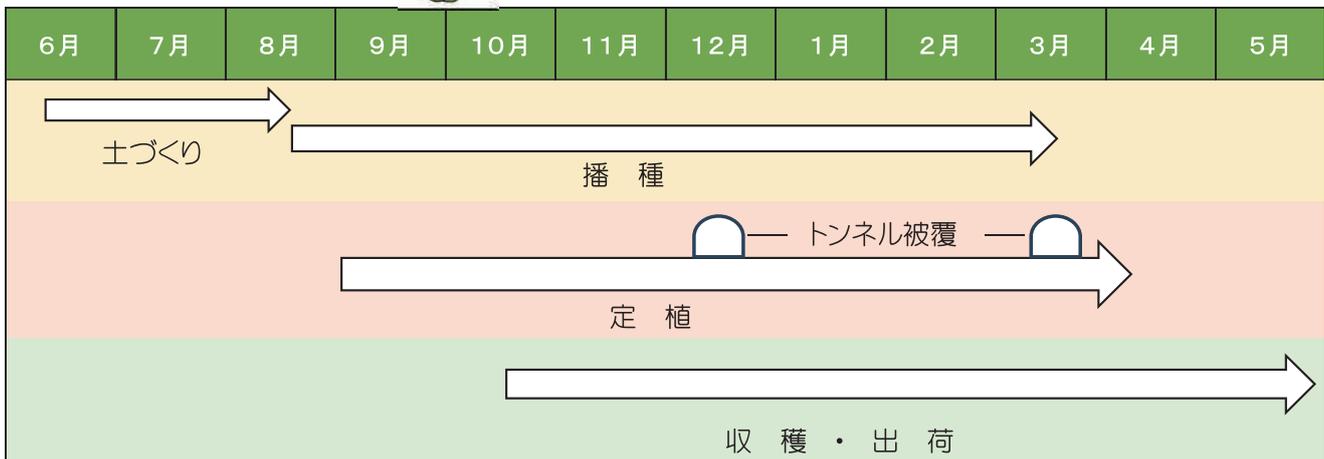


就農4年目です。周りの先輩に支えられてレタスを栽培しています。

始めたばかりで、栽培に自信がない状態からでも、勉強会で知識や技術を得ることができますし、分からないことがあったら、先輩の皆さんが適切にアドバイスしてくれるので、安心して栽培できています。

レタスの生産者が年々減っているのので、一緒にレタス栽培を始めてみませんか。

レタスの年間スケジュール表

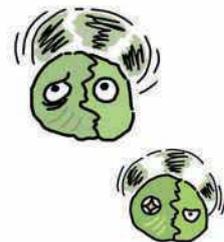


## 吉野川農業支援センターにおけるレタス栽培支援

～吉野川農業支援センターでは～

栽培講習会・出荷協議会における栽培管理指導、巡回による技術支援、土壌分析などを行っています。また、病害虫対策展示ほ、暑熱対策展示ほ等を設置し、栽培にかかる課題解決に努めています。

また、JAの栽培部会活動とは別に、生産者の自主的な勉強会を毎月開催し、新規就農者のフォローアップが図れる良い機会となっています。また、生産者間の情報交換の場となっています。



### 栽培講習会・出荷協議会・現地巡回

#### 【栽培講習会】

- ・JA等関係機関と連携して栽培のポイントや新品種・品種特性、栽培にかかる資材の紹介等

#### 【出荷協議会】

- ・JAと連携して、市場情勢報告や栽培上の注意点について説明
- ・出荷にかかる目慣らし

#### 【現地巡回】

- ・栽培状況について圃場巡回



### 展示ほの設置による技術課題の検討

栽培における技術課題の解決のため、生産者の圃場に展示ほを設置して検討を行っています。

#### 【疫病対策展示ほ】

- ・レタス疫病の有効薬剤・防除適期の検討
- ・耐病性の品種間差異の検討
- ・有効薬剤の選定

#### 【暑熱対策展示ほ】

- ・育苗ハウスの遮光ネットの効果
- ・育苗トレイ（白・白黒・黒）の比較
- ・育苗における遮熱資材の検討
- ・紙マルチ・白黒マルチ・黒マルチの比較



### 柿島レタス勉強会の開催

生産者の自主的な勉強会を月1回開催しています。

新規栽培者は、ベテラン農家から栽培のノウハウが学べるし、分からないことがあれば気軽に質問してアドバイスをもらうことができます。

#### 【開催内容】

- ・気象情報、病害虫発生予察情報の提供 ・栽培管理全般
- ・土づくり、農薬安全使用 ・参加者間の技術情報交換 ・先進地（県外）視察研修の実施



# 促成いちごの紹介



いちごはビニールハウス内で温度や湿度を管理しながら栽培するため、天候の影響を受けにくく、品質の高い果実を安定して長期間出荷することができます。

最近では、高設栽培システムを導入する農家も増えており、立ったままの姿勢で作業ができるため、腰に負担が少なく、衛生管理もしやすいという利点があります。

また、直売や観光農園との相性もよく、「いちご狩り」など地域と連携した取り組みも広がっています。ブランド化や販売の工夫によって、多様なスタイルの経営が可能ですが、一年中作業があり、繁忙期は特に忙しくなること、初期費用が高いことに注意が必要です。

## 先輩いちご農家の声



### 中山 凱翔 さん

現在は土成町のハウスで仲間と一緒に市場への出荷といちご狩りをメインに経営しています。

就農するまでは県外でサラリーマンをしていました。ゼロからのスタートでも、「経営発展支援事業」を活用することで高設栽培システムを導入し、いちご栽培を始めることができました。

いざ栽培を始めてみると、繁忙期は夜中まで毎日作業するほど忙しく、いちご栽培には気合いと根性が必要だと感じましたが、頼れる先輩農家（指導農業士）のサポートもあり、経営が安定してきました。

### 笠井 達也 さん 由佳 さん

現在は市場町のハウスで農協と直売所への出荷をメインに経営しています。

新規就農したときには「経営開始資金」の支援があったことで、運転資金に余裕ができて、必要な設備投資を進められました。

また、「施設園芸スマート技術講座」にも参加したことで、施設園芸やいちご栽培の基本から、最先端の技術まで、幅広い知識を得ることができ、栽培が安定して、収量を増加させることができました。



## いちごの年間スケジュール表



2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月				
親株定植				親株育成				ランナー採苗～育苗期間				定植～管理				加温開始～収穫終了まで			
前シーズンのいちご収穫				前作の片付け～畑の消毒				今作の準備				次作の親株定植～育成							

## 吉野川農業支援センターでのいちご栽培支援

阿波市・吉野川市ではさちのかや紅ほっぺ、やよいひめ等の栽培が多いですが、これら以外にも多様な品種が栽培されています。



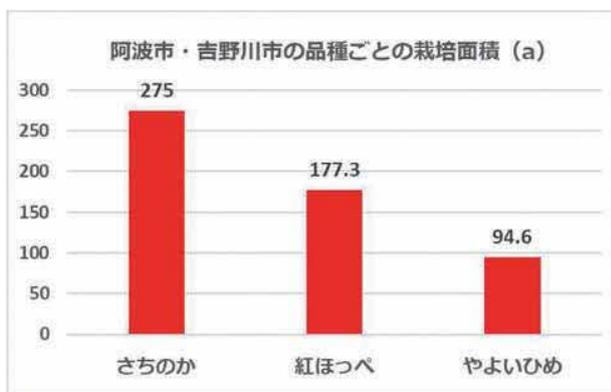
さちのか



紅ほっぺ



やよいひめ

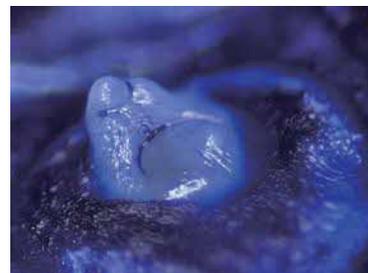


吉野川農業支援センターでは巡回による技術支援や栽培講習会、土壌分析などを行っています。

育苗期後半には定植前に欠かせない花芽検鏡や葉柄中の硝酸態窒素の測定も行うことで、一年を通して安定した栽培ができるように支援しています。



花芽検鏡の様子



花芽ができはじめたいちごの成長点

### 環境負荷低減に向けた取組

#### 取組① 育苗時における省力化技術

- ・遮熱シート、遮光シート、慣行区の3区で検証
- ・作業時間や花芽分化状況を調査



#### 取組② UV-Bによる環境負荷低減技術

- ・UV-B栽培、慣行栽培の2区で検証
- ・農薬使用回数やハダニ類等の発生を調査



#### 取組③ 赤色LEDによる環境負荷低減技術

- ・赤色LED栽培、慣行栽培の2区で検証
- ・農薬使用回数やアザミウマ類の発生を調査



#### 取組④ 天敵を活用した環境負荷低減技術

- ・天敵活用栽培、慣行栽培を比較検証
- ・天敵の定着状況やハダニ類等の発生を調査



昨年度（令和6年度）には環境に優しい栽培技術について検証し、消費者に向けた理解の醸成を図りました。

こちらで取組の結果を公開しています！



徳島県HP：いちご栽培における環境負荷低減に向けた栽培マニュアル

<https://www.pref.tokushima.lg.jp/file/attachment/986355.pdf>



# トマト・ミニトマトの紹介



管内では、主に2つの作型（夏秋トマト、促成トマト）で  
トマト・ミニトマトが生産されています。

**夏秋トマト**は、雨よけハウス・トンネルを利用して栽培を行います。

ゴールデンウィーク明け頃に定植し、本格的に暑くなる8月には収穫・栽培を終了するという特徴があります。一方、露地で栽培するため、天候の影響を受けやすく、病害虫対策にも工夫が必要です。

**促成トマト**は、ビニールハウスなどの施設内で、温度や湿度を管理しながら栽培するため、天候の影響を受けにくく、1年近く安定して果実を生産・出荷することができます。

また、土を使わず、人工培地（ロックウール、ヤシガラ等）を用いて栽培を行う「養液栽培」も行われています。促成トマトはハウスの他に、様々な設備を用いて栽培を行うため、初期費用が高くなることに注意が必要です。

より生産性を向上させるために、栽培施設内の各種環境因子をモニタリングし、高度に制御する統合環境制御に取り組んでいる生産者も多いです。

## 先輩トマト農家の声



茂治 篤志さん

作型  
・促成ミニトマト

色々な人と話をして情報収集することが大切だと感じています。JAの部会や地域の青年クラブといったコミュニティに入ることによって仲間ができて、いろいろな話を聞くことができました。コミュニティの仲間たちと一緒に、トマトの栽培を頑張っています。

現在は就農から年数が経ち、栽培の技術も安定してきたので、先人の取組を採り入れつつ、自分にあった新しい経営を考えて取り組んでいます。



Y・Kさん

作型  
・促成トマト  
・促成ミニトマト

新規就農してまだ数年ですが、土成町のハウスで栽培を行っており、無人販売所での販売も行っています。この無人販売所ありがたいことに多くの方に利用していただけているので、これからもおいしいトマトを作るモチベーションになっています。

トマトは毎日の栽培管理で忙しいですが、手をかけた分、成果が返ってくるので、やりがいを感じる、楽しい品目です。

トマトの年間スケジュール表



1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
夏秋トマト			定植準備	定植～管理	収穫開始～					後片付け	
促成トマト				前作の片づけ～ハウスの消毒	今作の準備	定植～管理	加温開始～収穫終了まで				

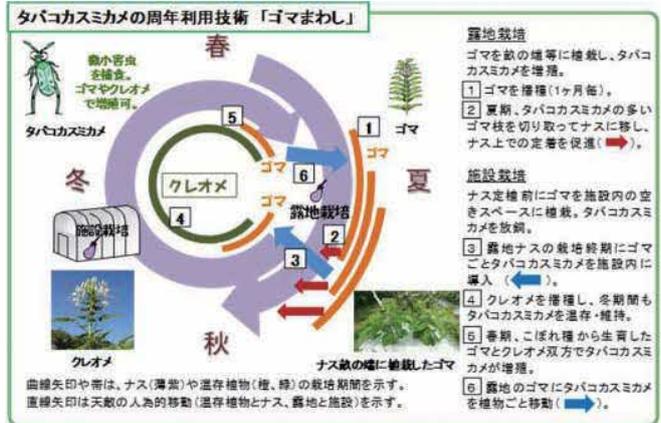
# 吉野川農業支援センターでのトマト・ミニトマトの栽培支援

## 夏秋トマト：天敵温存植物を用いた土着天敵の誘因・活用

阿波市吉野町の夏秋トマト栽培では、コナジラミ類が媒介する難防除病害「黄化葉巻病」が問題となっています。そこで、コナジラミ類を捕食する土着天敵「タバコカスミカメ」を活用した栽培体系の検討が進んでいます。

ゴマやクレオメ等の天敵温存植物をハウス脇に植栽することで土着天敵の誘因・定着を狙います。

農薬が効きにくくなったコナジラミ類の発生を抑えることができ、農薬の使用回数の削減と防除作業の省力化が期待できます。



## 促成トマト：養液栽培の技術向上

管内には阿波市を中心とした、養液栽培を実施している農家で結成された「阿波市養液栽培研究会」があり、栽培技術の向上を目指して養液分析の実施や、勉強会を開催しています。

興味のある方は吉野川農業支援センターまでお問い合わせください。



タバコカスミカメ

養液分析結果一覧表		分析日:														
		上限以上の値:U 下限以下の値:L														
上限	6.8	3.00	220	45.0	380	200	55	3.0	1.00	0.30	0.1	2.00	100	ppm		
下限	5.5	1.20	90	10.0	140	80	20	1.0	0.01	0.01	0.01	0.00	0			
※ 検出できなかった場合は、「-」または「0」と表示																
肥料番号	種別	pH	EC	硝酸態	リン	カリウム	カルシウム	マグネシウム	鉄	マンガン	亜鉛	銅	亜硝酸態 (比色)	ナトリウム		
		(mS/cm)	(ppm)	(ppm)	(ppm)	(ppm)	(ppm)	(ppm)	(ppm)	(ppm)	(ppm)	(ppm)	(ppm)	(ppm)		
No.001	排液	4.55	L	1.44	120.45	39.88	189.94	121.94	28.93	3.82	L	0.27	0.09	0.06	0.00	12.45
No.002	排液	4.73	L	1.40	115.41	40.99	181.05	83.94	24.12	4.15	L	1.02	0.11	0.01	0.01	8.13
No.003	給液	6.21	L	2.95	293.27	64.31	533.79	136.75	53.19	3.28	L	1.92	0.25	0.08	0.00	7.88
No.004	給液	6.49	L	2.26	234.57	36.06	444.49	97.88	17.35	L	1.90	1.28	0.16	0.05	0.00	5.32
No.005	排液	6.91	L	2.22	0.00	34.96	367.51	133.17	37.23	1.72	0.04	0.08	0.04	0.03	0.00	8.85

養液分析結果の例



現地検討会の様子



より深く栽培技術を学びたい方

→施設園芸スマート技術講座を受講してみませんか？

県農業大学校が令和2年から実施している講座です。施設園芸の基礎を学べる入門コースと、実際に環境制御を行いながら技術を習得する実践コースがあり、現在は、実践トマトコースと実践イチゴコースがあります。

実践トマトコースは令和2年の開講から現在まで、管内の生産者が受講を続けており、より高度な栽培技術を学んでいます。



座学の様子



現地研修の様子

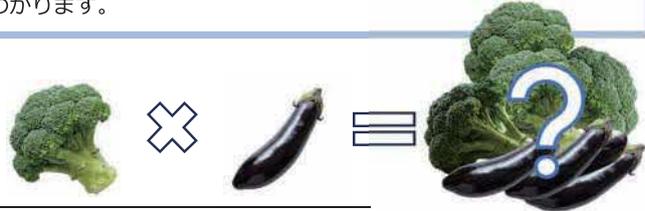


# 線形計画法を用いた複合経営モデルの試算

## 線形計画法プログラム XLPとは？

国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構（農研機構）が開発したプログラムで、畑の面積と品目ごとの労働時間、利益を入力すれば、作型ごとに最適な経営面積が計算されます。複合経営で迷いがちな、どの作物をどのくらい、どの時期に栽培すれば、限られた土地と労働力を最大限活用できるかがわかります。

こんな悩みありませんか？



ブロッコリーと夏秋なすで経営を始めたけど、自分の使える畑でどの作型をどのくらい作ったらいいのかわからない・・・！！



そんなときは、**線形計画法プログラム XLP** を使ってみましょう！

阿波市・吉野川市で多く、品目の相性がよい夏秋なすとブロッコリーの複合経営について農研機構が開発した「線形計画法プログラム XLP」を用いて複合経営のモデルを試算してみました。

## 【試算の条件】

試算したモデルでは、耕地面積を最大150a、労働力を2名、月当たりの最大労働時間を240時間（8時間×30日）／人、年間の最大労働時間は2,400時間／人としました。なお、今回は圃場を回転するような計算はしていません。

品目名	ブロッコリー						なす
	①8月播 11,12月収穫	②8月播 1月収穫	③9月播 2月収穫	④9月播 3,4月収穫	⑤12月播 4,5月収穫	⑥1月播 5月収穫	
10a所得(円)	255,954	195,684	195,969	195,969	229,212	258,310	1,299,913
1月(時間)	7	117	3	3	34	18	2
2月(時間)	0	7	114	3	0	18	1
3月(時間)	0	0	7	78	4	25	2
4月(時間)	0	0	0	45	78	8	31
5月(時間)	0	0	0	0	45	123	34
6月(時間)	0	0	0	0	0	0	141
7月(時間)	0	0	0	0	0	0	283
8月(時間)	21	21	0	0	0	0	264
9月(時間)	32	32	21	21	0	0	233
10月(時間)	7.5	8	32	30	0	0	98
11月(時間)	60	3	8	2	0	0	55
12月(時間)	60	0	3	6	21	0	32
年間労働	188	188	188	188	182	192	1,176

自分の作業日誌や出荷記録を元に入力すると、より正確な自分の経営モデルが作成できます！



今回は表1の経営指標を入力して試算してみました！（次ページ）



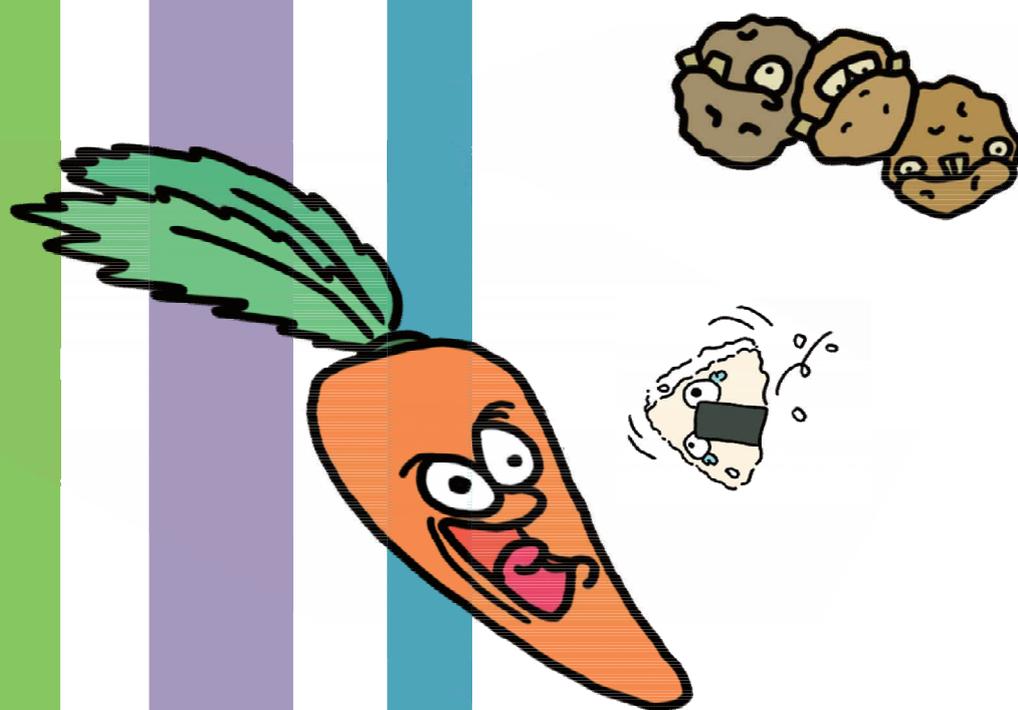
図1 試算に使った10aあたり所得・労働時間（徳島県経営指標より抜粋）

今回の試算では「優良な経営体」の事例を参考にしているほか、天候不順や市場価格の乱高下等は考慮していません。そのため、実際には大幅に労働時間や所得が増減する可能性があることにご注意ください。

しかし、それらを考慮しても、線形計画法XLPは自分の経営状況を把握し、経営方針を決定するためのツールとして定評のあるプログラムです。ご興味をお持ちいただけましたら、農業支援センターまでぜひお問い合わせください。



## 事業や制度を活用する



新たに事業を活用したい(国補) ・・・18	農地を貸したい・借りたい ・・・22
新たに事業を活用したい(県単) ・・・19	青色申告のメリットは? ・・・24
新たに事業を活用したい(市単) ・・・20	青色申告を始めたい ・・・26
様々な制度を活用しやすくするために ・・・21	収入低下のリスクに備えたい ・・・27

# 令和8年度農林水産省予算概算決定より支援事業の紹介



## 新規就農者育成総合対策

### 1. 経営発展への支援

- ① **経営発展支援事業** (機械・施設、家畜導入、果樹・茶改植、機械リース等が対象)

対象者：認定新規就農者(就農時49歳以下)

支援額：補助対象事業費上限 1,000万円 (2①の交付対象者は上限500万円)

補助率：都道府県支援分の2倍を国が支援 (国の補助上限1/2)

### 2. 資金面の支援

- ① **経営開始資金**

対象者：認定新規就農者(就農時49歳以下)

支援額：13.75万円/月(165万円/年)×最長3年間

- ② **就農準備資金**

対象者：研修期間中の研修生(就農時49歳以下)

支援額：13.75万円/月(165万円/年)×最長2年間



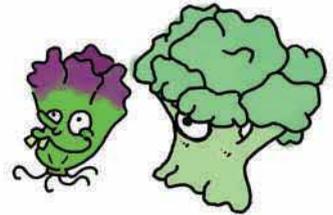
### (関連事業) 地域農業構造転換支援対策 新規就農者チャレンジ事業

(機械・施設、家畜導入、果樹・茶改植、機械リース等が対象)

対象者：認定新規就農者(65歳未満)

支援額：補助上限 個人1,500万円、法人3,000万円

補助率：購入 3/10以内、リース 定額(取得額相当の3/7)



## 農地利用効率化等支援交付金

### 1. 地域農業構造転換支援タイプ

将来像が明確化された地域計画の早期実現を後押しするため、**地域の中核となる担い手**に対し、**農地引受力の向上等に必要な農業用機械・施設の導入及び農業用機械のリース導入を支援**します。【補助率：購入 3/10、リース 定額 (上限1,500万円)】

※ リースは導入する農業用機械の取得相当額の3/7を定額で支援

### 2. 融資主体支援タイプ

**地域計画の目標地図に位置付けられた者が**、融資を受けて、**経営改善の取組に必要な農業用機械・施設を導入する場合に支援**します。

また、**スマート農業、集約型農業経営、農業生産のグリーン化**の取組について、**優先枠**を設けて支援します。【補助率：3/10 (上限300万円等)】

# とくしま農山漁村未来投資事業

地域の**未来**を担う大規模法人から個人までの幅広い経営体を対象に、経営規模の拡大や経営転換に向けた**投資を促進**する取組を支援します。

## 主な事業のメニュー

### 1. 企画チャレンジ型（企画チャレンジ事業）

地域農林水産業の課題解決に向けて、生産者自らが企画しチャレンジする取組に必要な機械・施設等の導入に係る経費を支援します。

<補助対象者>（以下のいずれかを満たす者）

- ・生産者3戸以上の組織等、従業員が5名以上の法人、地域の中心経営体

<事業内容>

- ・ハード事業 【補助率】6/10以内 【補助上限額】3,000万円
- ・セミハード・ソフト事業 【補助率】1/2以内 【補助上限額】60万円



### 2. 政策実践型

県施策の推進や、企画チャレンジ型の成功事例の横展開を図るための取組に必要な機械・施設等の導入に係る経費を支援します。

<補助対象者>（以下のいずれかを満たす者）

- ・市町村、生産者3戸以上の組織等、従業員が5名以上の法人、林業経営体、認定漁業者  
認定農業者又は認定新規就農者のうち地域計画の「目標地図」に位置づけられる経営体等

<事業内容>

#### ① 地域農林水産業支援事業

地域農林水産業の生産力向上につながる機械・施設等の導入に係る経費を支援

- ・ハード事業 【補助率】3/10以内 【補助上限額】1,000万円
- ・セミハード・ソフト事業 【補助率】1/2以内 【補助上限額】50万円

#### ② 施設園芸支援事業

施設園芸に取り組む際に必要な園芸用ハウス等の導入に係る経費を支援

- ・ハード事業 【補助率】1/2以内 【補助上限額】700万円
- ・セミハード・ソフト事業 【補助率】1/2以内 【補助上限額】50万円

#### ③ 新規就農者支援事業

新規就農のために必要な機械等の導入に係る経費を支援

- ・ハード事業 【補助率】1/2以内 【補助上限額】300万円
- ・セミハード・ソフト事業 【補助率】1/2以内 【補助上限額】50万円

#### ④ DX・GX推進事業

スマート技術や環境負荷低減技術に取り組むために必要な機械等の導入に係る経費を支援

- ・ハード事業 【補助率】1/2以内 【補助上限額】200万円
- ・セミハード・ソフト事業 【補助率】1/2以内 【補助上限額】50万円

#### ⑤ 労働環境等整備事業

労働環境等を整備するために必要な休憩室・トイレ等の導入に係る経費を支援

- ・ハード事業 【補助率】1/2以内 【補助上限額】200万円
- ・セミハード・ソフト事業 【補助率】1/2以内 【補助上限額】50万円

#### ⑥ 地域計画実現事業

ア 県版地域集積協力金交付事業 担い手への農地集積に取り組む地域への協力金 2.2万円/10a等

イ 耕作放棄地フル活用事業 借り受けた農地の再生整備に係る経費補助 上限14万円/10a等

ウ 事業承継加速化事業 事業承継に伴い必要となった機械の導入・修繕等にかかる経費を支援

- ・機械等の整備 【補助率】3/10以内 【補助上限額】100万円



## 新規就農安定経営支援事業補助金（阿波市）

新規就農者の園芸用施設等の整備や、農業用機械の導入などの初期投資費用を支援する。

<p><b>【対象費用】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆園芸用施設等の整備費 補助率：5/10以内 上限：1,000,000円</li> <li>◆農業用機械の導入費 補助率：5/10以内 上限：500,000円</li> <li>◆農用地等の取得費 補助率：5/10以内 上限：500,000円</li> </ul>
<p><b>【対象要件】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①認定新規就農者であること</li> <li>②阿波市内に住所又は事業所を有すること</li> <li>③青年等就業計画の品目を生産していること</li> <li>④市税等に滞納がないこと</li> <li>⑤国・県の補助対象事業でないこと</li> </ol>
<p><b>【その他】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆申請先 阿波市</li> <li>◆申請時期 随時（予算がなくなり次第、終了）</li> <li>◆事業年度 単年度</li> <li>◆必要書類             <ul style="list-style-type: none"> <li>□導入機械等の見積書とカタログ</li> <li>□市税完納証明書</li> <li>□青年等就業計画の品目の生産が確認できるもの（例：出荷伝票）</li> </ul> </li> <li>◆注意事項             <ul style="list-style-type: none"> <li>・申請者（経営体）につき各1回限り</li> </ul> </li> <li>◆対象となる機械、設備             <ul style="list-style-type: none"> <li>・既に普及しているものや汎用性の高いもの以外</li> </ul> </li> </ul>

## 申請手順

※事務都合により、手順については若干前後いたします。

申請者	必要書類添付の上、申請書を提出してください。
阿波市	交付決定 申請書提出から、2週間程度で交付決定が送付されます。
申請者	事業実施 決定通知到達後に、着工届提出を行い、事業を行います。
申請者	検査依頼 事業実施後に、阿波市へ検査依頼を行います。
阿波市	実地検査 事業が適正に遂行されているか、実地検査を行います。
申請者	実績報告 検査結果により、実績を報告します。
阿波市	交付確定 実績をもとに交付額の確定を行います。
申請者	補助金請求 確定された額の補助金の請求を行います。
阿波市	補助金振り込み 請求に基づき、補助金の口座振込を行います。 （※振込日については通知しますので、口座をご確認ください）

# 認定農業者・認定新規就農者になるには

## 認定農業者

- 担い手が農業生産の相当部分を担う農業構造を確立するため、国が農業経営基盤強化促進法（1993年制定）に基づく認定農業者制度を創設しています。
- 「農業経営改善計画」を市町村に提出し、認定を受けることで、認定農業者となることができます。
- 「農業経営改善計画」には、現在から5年後までの経営目標や、その達成のための具体的な資金計画及び事業計画等を記載します。
- 認定農業者になることで、意欲ある農業経営者として地域からの信頼が得られるとともに、様々な支援策を受けることが可能となります。

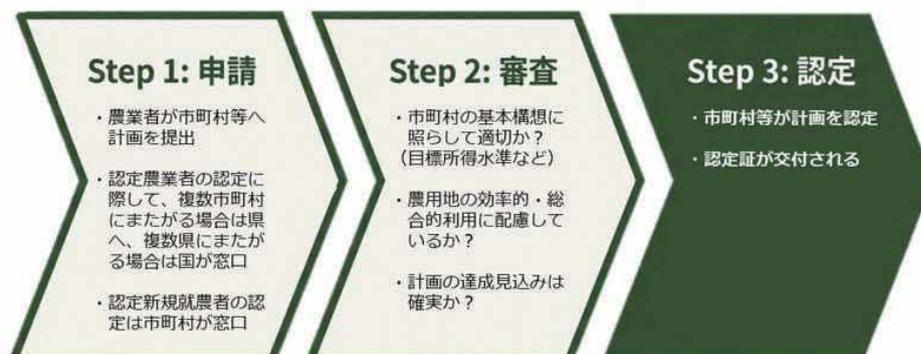


## 認定新規就農者

- 「認定新規就農者」とは、農業経営開始後5年目の目標を示した「青年等就農計画」を市町村に提出し、「地域農業の新たな担い手」として認定された新規就農者のことを言います。
- 「青年等就農計画」には、就農してから5年後までの経営目標や、その達成のための具体的な資金計画及び事業計画等を記載します。
- 国・県・市町村などの行政機関や農業関係機関は、認定新規就農者に対して、集中的に支援措置を講じます。



## 認定までのステップ



認定農業者  
認定新規就農者  
として活躍！



# 農地中間管理機構とは



農用地等を貸したいという農家(出し手)から農用地等の有効利用や農業経営の効率化を進める意欲ある担い手(受け手)へ農地の集積と集約化を支援している組織です。徳島県では公益財団法人徳島県農業開発公社が農地中間管理機構に指定されています。

## 機構を通じた農地の貸し借りの新たなしくみ

